質問

平成１９年３月定例会では、市長の施政方針に対して2月27日と２８日に６会派の代表質問が行われ、３月２日には９人の議員が個人質問を行いました。

代表質問　日本共産党 宇治市会議員団

▶ 住民税増税から市民の生活守るべきでは

▶ 子どもの医療費無料化の拡大を

▶ 新都市計画に無理があるのでは

問　**住民税の増税は国保料や介護保険料の引上げ等に跳ね返り、雪だるま式の負担増になっている。市民の暮らしを守るためのきめ細やかな対策が必要では。**

答　税制改正により市民税増収が見込まれるが所得税と住民税を合わせた額はこれまでと変わらないため、納税者にとっては定率減税廃止分が負担増となる。市ではできる限り申告者の利便を図る対応をしており、減免制度等を活用し、納付者個々の実態に基づいて対応している。

問　**乳幼児医療費の無料化は市民の切実な要望であり府下でも多くの自治体で就学前無料化を実現している。本市も通院分を含め就学前無料化をすべきでは。**

答　乳幼児医療費支給については、国や府の支援施策を基礎に、今年9月から小学生の入院分の無料化及び4歳から就学前の幼児の通院費助成を8千円超から3千円超に助成拡充の方向で予算提案している。就学前完全無料化を市単独で実施するのは、本市の財政上困難である。

問　**市町合併が住民サービス低下を招くことは必至で人口増加、中核市をめざし、大久保自衛隊を移転させ跡地に新都市をつくる計画には無理があるのではないか。**

答　現在、大久保地域を新都市の中枢機能を有する拠点と位置付け、協議している。整備の時期、開発規模、必要財源等については新都市発足以降、具体的に検討すべきであり、まちづくり全体のバランスや財政計画との整合を図りながら事業遂行していきたい。

代表質問　自由民主党 宇治市会議員団

▶ 人口減少時代の影響及び対策は

▶ 総合計画見直しの課題解決策は

▶ 宇治川改修の速やかな実施を

問　**平成27年以降、本市人口の減少が見込まれる。中長期的な展望の中でどのような影響が出ると考えられるか。またその対策を早期に講じる必要があるのでは。**

答　人口減少と超高齢化により市税収入が減少する一方で介護や医療等の義務的な経費が増大すると予想される。本質的には国レベルでの対策が不可欠であるが、税収と雇用の場を確保するための産業振興、安心して子育てできる環境づくり、団塊世代への対策が重要と考える。

問　**第四次総合計画の中間見直しが行われたが、今回の見直しで新たに出てきた課題はどのようなものか。また、今後その課題解決に向けての取り組みは。**

答　新たな課題としては、広域行政の推進、介護予防を重視した取り組みや障害者施策等、社会福祉制度全般の見直し、学校施設の老朽化と耐震化への対応、大久保駅周辺地区の整備をはじめとする都市基盤の整備等である。今後、市民が住みよさを実感できるまちづくりに努める。

問　**治水、利水、環境を柱にした河川改修が行われているが、まず治水が最優先であり、遅れている宇治川改修を速やかに行うよう、国に働きかけるべきでは。**

答　現在、天ヶ瀬ダムの毎秒１５００ｔ放流を前提とした堤防補強や塔ノ島地区の河川改修等、課題が山積したままである。今後、検討が行われると考えるが、国の審議の内容を注視し、府とも連携し一刻も早く治水安全度の向上が図られるよう積極的に働きかけていきたい。

代表質問　民主市民ネット

▶ 自主防災組織について

▶ 犬のふん害に対する防止対策は

▶ ベンチャー企業育成工場について

問　**地域住民が立ち上げた自主防災組織は仮に2年もたてば人も変わる。継続的に機能させるため、防災ボランティアや団塊の世代等に対し、参加を呼びかけては。**

答　防災ボランティアや団塊の世代が、地域の自主防災活動へ参加できる施策を検討している。防災ボランティアうじは、本年度で育成期間を終え、来年度より自主的な活動を行う予定であり、地域の防災のリーダーとして積極的に展開していただけるよう働きかけていきたい。

問　**宇治は文化資産や自然が大変すぐれている一方、ごみの散乱や犬のふん害など、地域によっては悲惨な実態もある。本市が取り組む犬のふん害防止対策は。**

答　現在、啓発看板の貸し出し、ふんの回収袋の配布など、あらゆる機会を通じて啓発活動を行っているところである。来年度からは、ふんの横にイエローカードを置き、「町内会も監視しています」と犬の飼い主に啓発を行うイエローカード作戦を試行的に取り組む予定である。

問　**産業拠点に企業が集まり、新しい活動を開始されることは市の将来に明るい展望を開かせる。ベンチャー企業育成工場に対する市の見解は。**

答　ベンチャー企業育成工場は、質の高い貸工場を提供し、次世代の産業をリードする企業を育成するために建設した施設である。今後、ベンチャー企業が成長し、新たな活動拠点を必要とする時期には、入居企業の発展にふさわしい場所への誘導を図るべきであると考える。

代表質問　公明党 宇治市会議員団

▶ 更なる市独自の子育て支援策を

▶ ＪＲ新田駅の今後の整備予定は

▶ 南部総合地方卸売市場について

問　**京都府で子育て支援医療費助成施策が拡充される。近隣市町の動向もしっかり見据えた上で、本市独自の子育て支援策をさらに進められないか。**

答　子育て支援に係る実施計画課題は多岐に渡っており、総合的かつ計画的に検討、推進していかなければならない。現在、本市は大変厳しい財政状況にあり、市独自の助成を現行以上に拡大することは困難な状況である。今後も引き続き、国や府による支援施策拡充を求めていく。

問　**新宇治淀線が事業着手されるなど、広野・大久保地域はますますの発展が期待される。ＪＲ新田駅のバリアフリー化、橋上化及び自由通路の設置の予定は。**

答　ＪＲ新田駅は、平成22年度までにエレベーターの設置や車いす対応のトイレ新設などバリアフリー化に取り組む予定である。なお駅の橋上化や自由通路の設置などについては、新田駅の東側のまちづくりを含めた総合的な検討を要することから、継続的な取り組みを行う。

問　**京都府南部総合地方卸売市場において、空き店舗が増加していく中、今までにない新たな活用方策を見出すべきときが来ていると考える。市の見解は。**

答　府を中心に京都府南部総合地方卸売市場関連店舗等検討会が設置され、京都と奈良を結ぶ観光の中継点としての立地条件を活かした多様な活性化案を洗い出すなど、現在幅広い検討がなされている。本市も、関係機関と連携し、卸売市場のさらなる発展に努めていきたい。

議会日誌

平成19年2月

14日　議会運営委員会
20日　議会運営委員会
21日　本会議（招集・提案説明等）
各派幹事会
議会運営委員会
本会議（議案審議・委員会付託等）
全員協議会
予算委員会
委員長会議
27日　本会議（一般質問）
28日　本会議（一般質問）

3月

2日　議会運営委員会
本会議（一般質問・議案審議）
予算特別委員会
各派幹事会
総務常任委員会
文教福祉常任委員会
6日　市民環境常任委員会
7日　建設水道常任委員会
8日　予算特別委員会
9日　予算特別委員会
12日　予算特別委員会
13日　予算特別委員会
14日　議会運営委員会
本会議（議案審議）
各派幹事会
15日　予算特別委員会
20日　予算特別委員会（現地）
26日　予算特別委員会（総括）
28日　議会運営委員会
各派幹事会
総務常任委員会
29日　本会議（議案審議等）
全員協議会
議会だより編集委員会
各派幹事会

4月

5日　議会運営委員会
9日　議会運営委員会
10日　議会運営委員会
本会議（議案審議）